

競 技 役 員

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------|-----------------|------------------|-------------------|--|--|--|--|------------------|--|--|--|--|
| 大会長 | 田中 米人 | | | | | | | | | | | | |
| 総務 | 武居 悠輔 | | | | | | | | | | | | |
| 総務員 | 堀向 英次 (統括・競技運営) | 小林 季生 (競技進行) | 橘 麗仁 (県申込・庶務) | 柄澤 真野 (県申込・庶務) | | | | | | | | | |
| 技術総務 | 秋山 重貴 | | | | | | | | | | | | |
| 審判長 | 桐山 勝次 (トラック) | | | | | | | | 高野 喜宏 (フィールド・混成) | | | | |
| TIC(県受付) | (主) 西尾 章広 | 橘 麗仁(兼) | 柄澤 真野(兼) | | | | | | | | | | |
| マーシャル | (主) 福澤 浅行 | | | | | | | | | | | | |
| アナウンサー | (主) 中澤 博和 | 中澤 毬乃 | | | | | | | | | | | |
| 記録・情報処理 | (主) 矢花 之宏 | 桜井 健一 | | | | | | | | | | | |
| 写真判定員 (周回記録含む) | (主) 河西 まゆみ | 井原 成経 | 田中 聡 | | | | | | | | | | |
| | ※総務・TICなどで兼ねる | | | | | | | | | | | | |
| 表彰係 | (主) 熊谷 賢二 | 今井 早苗 | | | | | | | | | | | |
| 風力計測員 (気象観測含む) | (主) 宮原 喜与志 | 矢島 朋幸 | | | | | | | | | | | |
| 用器具係 | (主) 細田 勇一 | | ※全審判員で行う | | | | | | | | | | |
| 競技者係 | (主) 小松 友美 | 柳 哲生 | 玉垣 政博 | 小沢 哲彦 | | | | | | | | | |
| 出発係 | (主) 久高 拓馬 | 加賀見 澄男 | 菅沼 美風 | 宮澤 輝久 | | | | | | | | | |
| | 今村 善紀 | | | | | | | | | | | | |
| スターター | (主) 石井 克之 | 林 努 | 志村 尚士 | | | | | | | | | | |
| 監察員 | (主) 唐木 陽平 | 丸岡 修 | 松山 克敏 | 師岡 克彦 | | | | | | | | | |
| | 関 博文 | 三沢 光晴 | | | | | | | | | | | |
| 跳躍審判員 | (主) 中澤 隆一 | 遠山 正洋 | 松村 覚 | 水口 壽尚 | | | | | | | | | |
| | 笠川 真一 | 新村 守 | 田中 美和子 | | | | | | | | | | |
| 投てき審判員 | (主) 福島 健一 | 伊藤 和也 | 丸山 玲央 | 日達 忍 | | | | | | | | | |
| 補助員係(兼務) | 小林 季生(兼) | | | | | | | | | | | | |

補 助 員 一 覧

| | 総務・役員 | TIC | 駐車場 | アナウンサー | 風力計測 | 監(兼リレー)時 | 用器具 | 競技者 | 出発 | スターター | (写真判定)兼周回 | 跳躍 | 投擲 | 計 |
|------------|-------|-----|-----|--------|------|----------|-----|-----|----|-------|-----------|----|----|----|
| 東海大諏訪高校 | | 1 | | | | | | | 2 | | | 2 | | 5 |
| 公立諏訪東京理科大学 | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | 3 |
| 茅野高校 | | | | | | | | 2 | | | | 1 | | 3 |
| | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 配置数 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | | 11 |

※ハードルの出し入れについては、お手すきの審判員・補助員もお手伝いをお願いします。

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 受付：以下の通りを行う。

- (1) 8 時 00 分から受付を開始する。各チーム代表者が受付をすること。
- (3) 受付の際に、プログラムとアスリートビブスを配布する。配布されたアスリートビブスは回収しない。
- (4) プログラムの記載内容（氏名、フリガナ、学年、所属等）の訂正は T I C（大会総合案内）で訂正用紙を記入して提出すること。

3. 招集について

- (1) 招集は招集完了時刻までに第 4 コーナー入口の器具庫前の招集所で行う。
- (2) 各種目の招集完了時刻は、プログラム競技日程記載のとおりとする。
- (3) 招集所ではアスリートビブス、スパイクピンのチェックを行う。
- (4) 代理人による招集は認めない。
- (5) 棄権する場合は、本人または代理人が必ず競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を棄権したものとみなす。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはそのままの大きさと胸と背部に確実に固定すること。ただし跳躍競技に関しては、胸または背中の上のいずれか 1 枚つけるだけでも良い。
- (2)トラック競技に出場する競技者およびリレーのアンカーは、腰ナンバーをパンツ右側の上部やや後ろにつけること。腰ナンバーは招集所で配布する。なお腰ナンバーを受け取っただけでは、招集完了とならないので注意すること。

5. 競技方法について

- (1)トラック競技
 - ① レーンおよびオーダー順はプログラム記載の順とする。
 - ② 危険防止のため短距離走では、フィニッシュライン通過後もしくはバトンパス受け渡し後も必ず自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - ③ 短距離のスタートはクラウチングスタートのみとする。スターティングブロック使用の有無については選択できる。
 - ④ 80m ハードルはハードルの高さが 70cm、インターバル 13m-7m(9 台)-11m とする。
 - ⑤ 予選のあるトラック競技の決勝の組合せおよびレーン順は招集所の掲示板にて発表する。
 - ⑥ リレー控え選手は「友好男女 100m」のレースに出場することができる。希望するチームの監督は大会本部まで申し出ること。締め切り時間は 9 時 40 分とする。なお、「友好男女 100m」に出場した選手はリレー決勝には出場できない。予選通過チームの決勝における競技者変更は、傷病等の理由により競技参加が困難であることを大会医務員が判断し、大会総務が認めた場合に限る。

(2)フィールド競技

- ① 試技順はプログラム記載の順とする。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ③ 男女コンバインド A 走高跳のバーの上げ方は以下の通りにするが、当日の天候や選手状況により練習の高さを含め変更することもある。

| 種目 | 練習の高さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | … |
|----------------|-------|------|------|------|------|------|--------------|
| 男女コンバインド A 走高跳 | 90cm | 90cm | 95cm | 1m00 | 1m05 | 1m10 | 以後 3cm ずつ |

- ④ 走高跳は、はさみ跳びとし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背・腰から落下した場合は無効試技となる。なお、2回連続して試技を失敗した時点で競技終了とする。
- ⑤ 走幅跳、ジャベリックボール投の試技は2回とする。
- ⑥ ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とし、一投ずつ計測する。(2連投ではない)羽部分を持って投げたり、回転して投げたりすることは禁止する。

(3) リレー競技

- ① リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。なお、オーダー用紙を提出しただけでは、招集完了とならない。招集完了時刻までに招集所で招集を受けること。
- ② テークオーバーゾーンは30mとし、その中で次走者の加速スタート、バトン渡しを行うこと。
- ③ リレー競走の競技者は、大きさが最大50mm×400mmの粘着テープ(マーカー)を1箇所、自身のレーン内に貼ることができる。次走者のつけたマーカーは、走り終わった前走者が必ずはがすこと。
- ④ リレーメンバーは当初エントリーしたメンバーのみが出場でき、同じ団体の他チームからメンバーを入れることはできない。

(4) コンバインド競技

- ① 記録に得点をつけて2種目の合計得点で順位を決定する。得点は『JAAF 小学生コンバインド種目得点表(2022年度版)』による。
- ② 80mハードルと走幅跳における風速は計測するが、得点・順位に影響はない。
- ③ スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし0点とする。
- ④ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑤ 2種目の合計得点が同点の場合は、同順位とする。

6. 表彰について

- (1) 各種目(友好男女100mを除く)第1位にはメダルと賞状、第2位～第8位には賞状を授与する。
- (2) 表彰式は結果発表後30分後にメインスタンド前で行うので、集合すること。

7. 県大会申込み・日本陸連登録について

- (1) 各種目上位8位までの者(リレー8チーム)で県大会出場希望者は、大会当日中に大会本部にて申し込みを行うこと。後日の受付は一切行わない。
- (2) 参加料1人700円(傷害保険料含む)を添えて申し込み手続きを行うこと。
- (3) 申し込みは各種目の競技結果発表後、随時受付を開始し、午後2時で締め切る。
- (4) 県大会出場を辞退する場合は、競技結果発表後30分以内に大会本部まで申し出ること。辞退が出た場合は、下位から繰り上げをする。その際には、該当チームの監督に順次連絡をする。
- (5) 県大会の4×100mRの参加人数は6名で、南信小学生大会参加メンバーの変更や追加エントリーは認められない。
- (6) 日本陸連登録については、個人登録(小学校からの参加や5名以下のクラブチーム)に該当する者は950円(登録料800円・決済手数料150円)を県大会申込と合わせて提出すること。団体登録(5名以上のクラブチームや一般登録団)に該当する者は、当日の担当者から別途説明を受けること。

8. その他

- (1) 競技者、チーム関係者(監督コーチADを持つもの)及び競技役員のみが競技エリアへ入ることができる。
- (2) アスリートビブスを取り付けるための安全ピンは各自で用意する。
- (3) 競技場は全天候舗装につき、スパイクピンは9mmを超えてはならない。走高跳は12mmを超えてはならない。小学生のスパイク使用は可とする。素足での競技は禁止する。
- (4) ウォーミングアップは競技場内の空いている場所で行う。その際、係員の指示に必ず従うこと。競技場周辺の道路でのアップは禁止する。
- (5) 競技会中の傷害及び疾病に対して、主催者は応急処置と加入傷害保険の範囲内での対応とし、それ以外の責任は負わない。

(6) 競技結果はTIC付近に掲示をする。

長野陸協ホームページ内「DATA WEB」-「競技会結果」-「2023 競技会結果」にも速報で掲載をする。

<長野陸協速報ページ リンク QR コード>

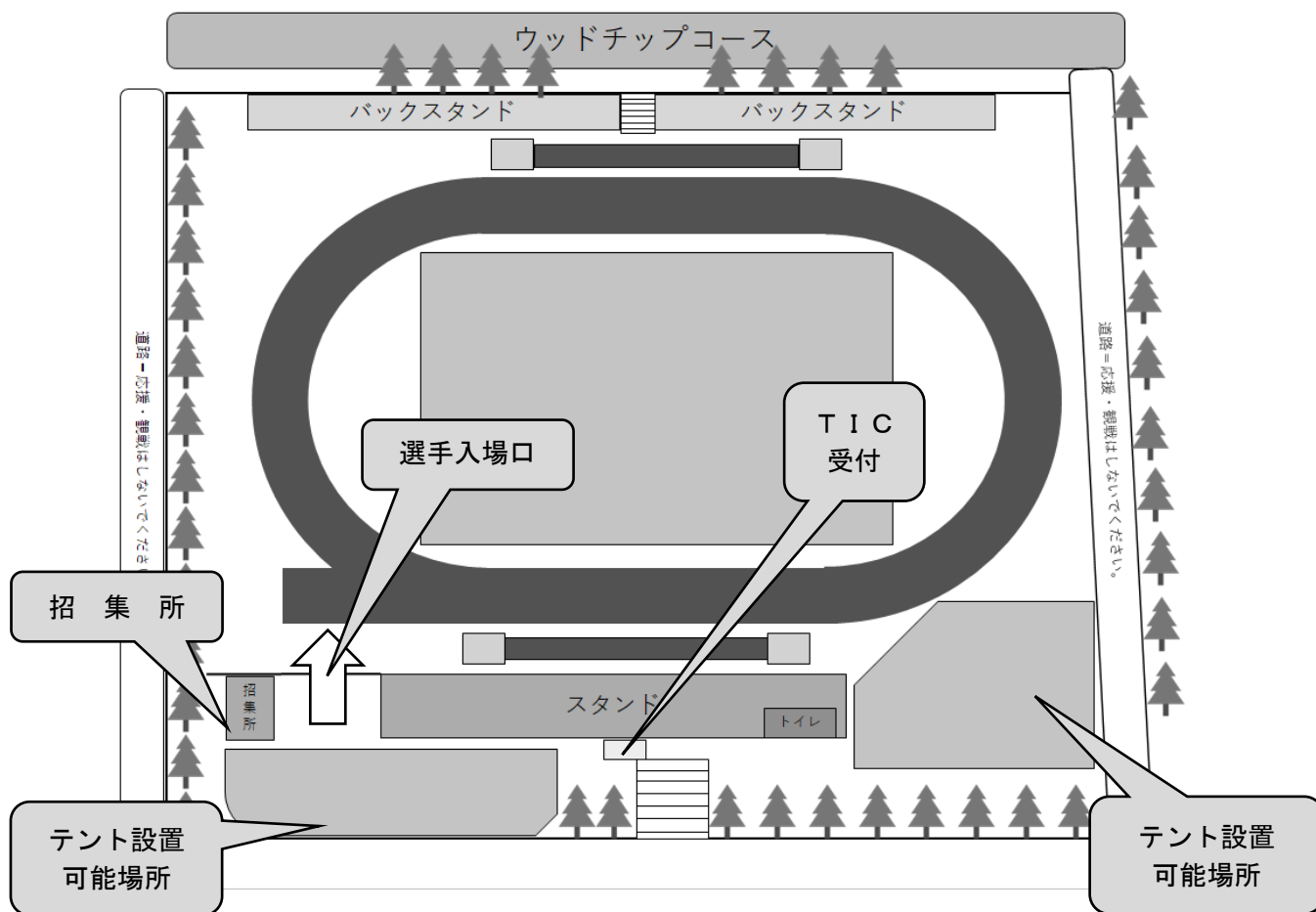


(7) 選手の控え場所はメインスタンド裏のスペースに設置できる。バックスタンド裏のウッドチップコースは一般利用者のジョギングコースのため、控え場所にはしないこと。

(8) ゴミは必ず持ち帰ること。

(9) 個人情報取り扱いについて。参加申込書に記載された個人情報は、大会運営・上位大会への手続きにのみ使用する。

場 内 案 内 図



<利用上の注意>

- ・バックスタンド裏のウッドチップコースは一般利用者のジョギングコースのため、控え場所にはしないでください。
- ・テント設営の際はゆずりあってご利用ください。
- ・テントが強風で飛ばされないようしっかりと固定してください。
- ・競技場内での練習については、役員の指示に従って行ってください。
- ・道路での応援・観戦はしないでください。